

テーマ:造形

いろいろな素材をつかった遊び

西池袋第二保育園(豊島区)

テーマを設定する

製作が好きなクラスで、紙、はさみ、のり等を用いて自由に色々なものを作って楽しんできた。いつもは保育室内で楽しんでた製作遊びでは、空間的な制限が多い。ホールを使えば広い空間を使って活動することができるため、アーティストと共に、特別な体験を楽しんでほしいとの願いから、ダイナミックな製作活動として「光る家づくり」をテーマに設定した。

活動 アーティストワークショップ1~4

蛍光色の絵の具やマジックで描く、のりで貼る、はさみで切る、ビニールをかけるなどさまざまな造形活動を通して大きなダンボールの家をつくり、ブラックライトを当てて光らせて変化を楽しんだ。最後には他クラスに発表し体験してもらった。

環境をデザインする

●準備した物 ダンボール、クラフト紙、蛍光絵の具、蛍光マジック、油性マジック、ブラックライト、のり、はさみ、カラービニール、園芸用支柱、養生シートほか

探究活動を実践する

- 活動内容
- 1. 大きなクラフト紙の上に乗って、端から端までマジックで1人1本自由に線を描く
- 2. クラフト紙を4枚に分けて、4グループに分かれる。赤、青、黄色、緑、橙の5色の蛍光絵の具が配られる
- 3. 紙に描かれた線の中から「△」を探して、好きな色で塗る。「□」と「○」を探して塗る。
- 4. 自由に描いたり塗ったりする。
- 5. 4枚のクラフト紙を合体させて1つの大きな絵になる。
- 6. 部屋の電気を消し、ブラックライトを当てて光る絵を鑑賞。

※2日目は、絵を子どもたちが自由に切って、段ボールで作った家に貼りつけて光る家づくり。3日目は家と家をつなげてトンネル状にして、最後に、3歳児を招待して、光る家を案内した。4日目は同テーマに基づき別内容で造形ワークショップを実施。

●子どもたちの様子

- ・絵の具をたっぷりつけて上からぼたぼた垂らすと水玉模様ができることを発見。ぽってりと盛り上がりつつやつやつ光るのを観察している姿があった。
- ・筆を紙に押し付けてくると回転すると、○が描けることを発見。別の子がその○を別の色で囲っていく。二人でカラフルな丸を増やしていた。
- ・お皿の中でとろっと動く絵の具。筆を動かすと、その線が絵の具の表面に筋となって浮かび上がっては消える様子が夢中になっていた。

活動スケジュール(4歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① アーティストワークショップ1 講師:塩川岳(美術家)他1名	R7.10.21 (火)	60分程度	20人
② アーティストワークショップ2 講師:塩川岳(美術家)他1名	R7.10.28 (火)	60分程度	19人
③ アーティストワークショップ3 講師:塩川岳(美術家)他1名	R7.11.7 (金)	60分程度	19人
④ アーティストワークショップ4 講師:水内貴英(美術家)	R7.12.19 (金)	65分程度	18人
⑤ 保護者会にて子どもと一緒に回覧・体験	R8.1.30 (金)	15分程度	11家庭



振り返りをふまえた気づき

●保育士から

- ・絵の具やマジック、ビニール、ダンボール、クラフト紙など、さまざまな造形素材に触れながらダイナミックに活動することで、子どもたちの造形に対する意欲がさらに高まった。普段の保育でも自分たちから「絵の具がやりたい」等の声が上がリ、造形活動に対してさらに楽しいイメージがふくらんでいることが伺える。
- ・大人が手を出さなくても、個々で素材と向き合っているいろいろな発見をしたり、絵や空間に対してイメージをふくらませたりして、言葉にしている様子が見られた。